

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高齢入院患者における院内転倒発生時期の関連因子についての後方視的調査
1. 研究の対象および研究対象期間 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに昭和医科大学江東豊洲病院に入院し、入院中に院内転倒を生じた 65 歳以上の患者さん
2. 研究目的・方法 本研究の目的は、高齢入院患者さんにおける院内転倒発生時期と関連する因子を明らかにすることです。院内転倒は高齢入院患者さんにおいて重要な医療安全上の課題であり、転倒予防対策の充実が求められています。本研究では、年齢、認知障害、入院診療区分、手術、リハビリ介入などと、転倒発生時期との関連を後ろ向きに調査します。本研究により、高齢入院患者さんに対する転倒予防対策の改善や医療安全向上につながることを期待されます。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 9 月 30 日まで。
4. 研究に用いる試料・情報の種類 診療録から以下の項目を調査いたします。 ・ 年齢 ・ 性別 ・ 入院日 ・ 転倒発生日 ・ 入院から転倒までの日数 ・ 入院診療区分（緊急入院／予定入院） ・ 認知障害の有無 ・ 手術の有無 ・ リハビリ介入の有無
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	関 雅良
分担研究者	昭和医科大学	江東豊洲病院リハビリテーション室	保坂 亮
	昭和医科大学	江東豊洲病院リハビリテーション科	杉山 智子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 氏名：関雅良

住所：神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865 電話番号：045-985-6515